



# 関ロータークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E-mail [seki-rc@abelia.ocn.ne.jp](mailto:seki-rc@abelia.ocn.ne.jp)  
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 今峰 徹 ■副会長 大澤竜一 ■幹事 池村真一郎



2016~17 年度国際ローターテーマ  
「人類に奉仕するローター」 ROTARY SERVING HUMANITY

RI 会長 ジョンF. ジャーム  
2016~17 年度 関ロータークラブテーマ  
「おもいやり」 第51代会長 今峰徹

第 2424 号 平成 28 年 7 月 26 日 (火)

- 前例会の記録・第 2423 回 7 月 19 日(火)12:30  
 ガバナー補佐指導によるクラブアッセンブリー  
 東海北陸道グループガバナー補佐 横山隆一郎様
- ◆開会点鐘
  - ◆「我らの生業」斉唱
  - ◆ビジター紹介
- 東海北陸道グループガバナー補佐 横山隆一郎様  
 各務原ロータークラブ 会長 小林幹男様  
 " 会長エレクト 大野広様
- ◆会長挨拶



「One profits most who serves best」  
 これは Arthur Frederick Sheldon が提唱した概念で、「最も奉仕する者 最も多く報われる」とある。しかし元は、「he profits most who serves his fellows best」と、「his fellows」という言葉が入っていた。当時のミシガン大学経営学の理論「奉仕の哲学」の概念

1. 商人は利潤無くして個人の事業は成り立たせることはできない。
  2. 利潤獲得に名を借りて、儲けのためなら手段を選ばないなら社会は醜いものになる。
  3. 「利己と他利との調和」こそ、商人と顧客の関係を起立すべき偉大な原則である。
  4. この時、商人も利益を得て物心両面の幸せを得るが、顧客も商人との取引で物心両面の幸せを得ることができる。
- これを「奉仕」、即ち「利己と他利の調和せしむる心の場」と呼んだ。「he profits most who serves his fellows best」という文言は、第一回全米ロータークラブ連合会の年次総会で発表された。自由競争の中で発展する企業の特徴をサービスと名付けた。
1. 価格の安いことだけがサービスではないこと。
  2. 経営者や従業員の、顧客に対する気配り。
  3. 商品や業務に対する責任感。
  4. 顧客の感じる満足感と公平感。
- これらのすべてがサービスであり、サービスが良ければ顧客はリピーターとなり、さらなる顧客を紹介もしてくれる。企業にとりサービスはとても重要な要素である。事業上得た利益は、事業主個人に帰するものではなく従業員、取引先、下請け業者、顧客、同業者など関係する

すべての人々のおかげと感謝し、利益を適正に分配することで最高の利益が得られる。「his fellows」とはこの従業員、取引先、下請け業者、顧客、同業者など関係するすべての人々のことであり、自分を含めた利益の適正分配が職業奉仕である。第二回全米ロータークラブ連合会の年次総会では「his fellows」という言葉が消された。ここでは経営学という科学を實踐することで人々に物品、サービスを購入すべき顧客を確保する。そして未永く取引すべく血の通った事業を続けていく、この源となる心がサービスである。とっており、「his fellows」が消されていることは、自分の周りの人々だけでなく、より多くの人に奉仕すべしという意味があると考えられる。しかし、最後に「サービスの見返りは必ずやあなた方にももたらされるのである」との文言が入り、見返りは当然あるべきものと考えており、これは純粋な奉仕ではなく自己の利益、即ち利潤は否定していない。しかし同じ第二回年次総会で、ミネアポリスクラブのフランク・B・コリンズより「service, not self」という有名な標語が生まれた。これは、自己の利益を否定し、他者への奉仕がすべて。これがローターの本分であるという。今は not が above に代わり自己の否定はなくなっているが、「One profits most who serves best」と「service above self」、この2つの標語の自己と他者との位置付けに違いを感じるのは自分だけか。

### ◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 西本理美  
 会員 47 名中 出席 27 名 出席率 60.00%

◎ニコボックス委員会 委員長 林昇

会長・副会長・幹事の皆さん・・・梅雨も明け夏本番になって参りました。本日から例会場での 2016~17 年度の例会がスタートでございます。東海北陸道グループガバナー補佐 横山隆一郎様、各務原 RC 会長 小林幹男様、会長エレクト 大野広様、ようこそ関 RC へ。本日は横山ガバナー補佐ご指導による「クラブアッセンブリー」でございます。関 RC は 50 周年を迎えます。50 周年にかける熱い意気込みをご報告させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐 横山隆一郎様・・・本日は、よろしくお願い致します。

山村、清水(善)、長尾、加藤(浩)、三輪、林(昇)、岩倉の皆さん・・・本日は、大変お忙しい中、ガバナー補佐 横山

隆一郎様、会長 小林幹男様、会長エレクト 大野広様、  
関 RC へ ようこそお越し下さいました。横山ガバナー補  
佐様におかれましては、クラブアッセンブリーでのご指  
導よろしくお祈りします。新三役の皆様、改めまして、  
一年間頑張ってください。

杉浦孝志さん…ガバナー補佐 横山様 関 RC へ、よう  
こそ!!アッセンブリーよろしくお祈りします。

#### ◆ガバナー補佐指導によるクラブアッセンブリー

東海北陸道グループガバナー補佐 横山隆一郎様



関ロータリークラブの皆さん、こんにちは。私は今期、東  
海北陸道グループのガバナー  
補佐を仰せつかりました各務  
原ロータリークラブの横山隆  
一郎で御座います。どうぞよろ  
しくお祈りします。まず初めに  
本日お邪魔しましたメンバー  
を紹介させていただきます。会  
長の小林幹男と会長エレクト  
の大野広です。私が何も言わな  
いのこうして随行してくれ

ますのも 劔田ガバナーがおっしゃるロータリーの原理原  
則である「思いやりの心」の現れと本当に嬉しく思っ  
ております。さて、劔田ガバナーは私たちガバナー補佐に  
対して大きな期待をされております。各クラブの課題や  
活動に対して指導や助言を積極的に行い各クラブがより  
活性化するように行動して欲しいと言われております。  
しかしながら私はその能力も意思もありません。私の基  
本的スタンスは課題や悩みを共有して共に悩み、共に考  
え、共に行動していくことであります。今の RI は基本的  
にトップダウンの姿勢です。私はどのような組織体でも  
トップダウンでは良くならないと考えております。組織  
が活性化する原動力は個人のモチベーションが上がるこ  
とこそが重要であります。ボトムアップこそが発展の原  
動力であると固く信じております。会員一人ひとりの意  
識がクラブを動かし、会長、幹事さんのリーダーシップ  
が成果を生むと考えております。とはいうものの RI の方  
針などの情報にも触れないわけにはいきませんので少し  
触れさせてもらいます。ご承知のように 2016 年規定審議  
会において大きく変更されました。これに伴いクラブの  
定款も変更する必要があります。更に細則も変更する必  
要がありますが細則についてはあまり急ぐ必要がありま  
せん。むしろ重要なのはクラブ内で十分に協議して全員  
の合意の上で決定することだと言われております。RI の  
方針に対して批判や抵抗感を抱いているロータリアンは  
多くあります。ビチャイ元会長などもロータリーの本来  
の道を外れてしまった事とロータリーの行動規範を削除  
したこと、中核的価値観、すなわちビジネス及び専門職  
での高い倫理基準の促進という理念を崩壊していると批  
判しております。抵抗感を抱かれています方は多くあり  
ますがパストガバナーの服部先生もその一人です。ロー  
タリーは命令一下、全世界のクラブが挙って寄付と人道奉  
仕に邁進することになると危惧してみえます。劔田ガバ  
ナーは何事にも原理原則がある。これは時空に関係なく  
見失ってはならないことである。ロータリーの原理原則  
は「思いやりの心」「助け合いの心」であると力説してお  
られます。この精神でクラブを潤していくのが「クラブ  
奉仕」、仕事に従事するのが「職業奉仕」、地域社会、国  
際社会を潤していくのが「社会奉仕・国際奉仕」、青少年  
に植え付けていく事が「青少年奉仕」であると劔田ガバ  
ナーは言っておられます。また、こうしたロータリアン  
としての人格を形成する唯一の場所が例会場だと信じて  
おります。とも言われております。このような考え方から  
劔田ガバナーの信条は「最も出席するもの最も報いら  
れる」です。私もこのような考え方に共感を抱くもので  
す。また劔田ガバナーはこうも言われております。ロー

タリーは寄付団体でもなければ慈善団体でもない。と  
ころが RI はどうもこのような方向に向かっているように  
思えます。人頭分担金を 16-17 年度は 60 ドル、毎年 4  
ドルずつ上げていき 19-20 年度には 68 ドルになります。  
日本全体では 7 億円に近い額になります。また R 財団へ  
の寄付も強く求められてきます。これらをどのように理  
解するかは個々に違いがあると思われませんが抵抗感を抱  
く人が多くあっても不思議ではないと思っております。  
財団への寄付をお願いする立場にあります心苦しく感じ  
ております。ここで各務原ロータリーの歴史に触れたい  
と思います。それは歴史に学べ、歴史が証明している  
と思うからです。各務原ロータリークラブも過去には 70  
名程の会員を擁しておりました。平成の初め頃の話です。  
ところが今では 20 名程になっておりますがこれは奇跡と  
言ってもいいでしょう。なぜなら毎年 4~5 名の退会者が  
続きました。15 年も経過すれば消滅していても不思議で  
はなかったからです。退会者が続いている間は新入会員  
は当然ありません。ではなぜ退会者が続出したかを考え  
てみたいと思います。色々な理由がありますが最も大き  
な理由はクラブ内の人間関係でしょう。仲良しグループ  
が出来てグループ間の隔たりができる。どのグループに  
も属さない人は阻害感を抱き居場所がなくなる。など例  
会に出席しても楽しくない、従って意欲が湧かない。こ  
んなことならいっそ退会ということになります。また理  
事会などで決定したことでも長老の一言で覆ってしまう  
などクラブ運営上の理由が最大でしょう。何をすることに  
してもこのような状態では一致協力して取り組めない。も  
う一つの理由は活動の内容でしょう。単発的には色々地  
域に奉仕活動をしてきましたが継続して地域社会に奉仕  
活動をして汗を流す事が少なかったように思います。私  
は地域社会に密着した、地域の人たちを巻き込んだ活動  
を継続していく事がロータリーを理解してもらう上で重  
要ではないかと思っております。グループ全体である目  
標に向かって一致協力して向かっていくことは心地よい  
ものですし、達成した時の喜びも大きなものがあると思  
います。このような経験から兎に角例会は明るく、楽し  
くなくてははいけません。そして一部の人の想いではなく  
全員が理解し共有していることが必要です。どのクラブ  
も会員の増強が課題になっております。RI2630 地区の 1  
クラブの平均会員数は 40 名です。これは全国平均の 39  
名と変わりません。RI の方針は 50 名以下のクラブは純増  
1 名、50 名以上のクラブは 2 名以上としておりますが長  
期目標としてこの平均人数を参考にしてもらうのを提案  
したいと思っております。冒頭に申し上げましたがこうして若  
い会員が随行してくれます。クラブの活性化はこうした  
若い会員の行動力とアイデアに大いに期待しております。  
私自身はゴルフは下手で自称 3 桁会の会長と言っており  
ますが若い会員と共に楽しむことにしました。年齢差や  
上手、下手は、さておきクラブ内の融和や親睦を図る上  
で大切なことだと思った次第です。拙い話でしたがご清  
聴いただきましてありがとう御座いました。

#### ◆幹事報告

◎8 月の例会予定表配布

◎例会変更と休会通知

・可児 RC・美濃 RC・郡上長良川 RC・美濃加茂 RC

次例会のご案内 7 月 30 日(土) 8/2 の変更  
納涼例会「岐阜長良川花火大会鑑賞」  
担当：親睦活動委員会

\*\*\*\*\*

例 会：毎週火曜日 12:30

例会場：岐阜県関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店 2F

事務局：岐阜県関市平和通 7-10-25 アメリカ 2F